

小規模建築物基礎設計指針

目 次

第1章 総 則

1.1節 適用範囲と設計法	1
1.2節 用語	3
1.3節 基礎の設計方針	5
1.4節 本指針の構成	6

第2章 事前調査

2.1節 基本事項	9
2.2節 資料調査	14
2.3節 現地踏査	24

第3章 地盤調査

3.1節 基本事項	30
3.2節 原位置試験	31
3.3節 土質試験	46

第4章 荷重

4.1節 荷重の種類と大きさ	53
----------------	----

第5章 基礎の計画

5.1節 基本事項	67
5.2節 与条件の把握	67
5.3節 支持地盤および基礎の選定	70
5.4節 支持力の検討	74
5.5節 沈下の検討	79
5.6節 地盤の液状化	88

第6章 直接基礎の設計

6.1節 基本事項	93
6.2節 直接基礎の種類と選定	95

6.3節 布基礎	99
6.4節 偏心布基礎	123
6.5節 片側に土圧を受ける基礎	132
6.6節 べた基礎	147
6.7節 独立基礎	164
6.8節 アンカーボルト	169

第7章 地盤補強の設計

7.1節 基本事項	178
7.2節 杭状地盤補強工法	181
7.3節 浅層混合処理工法	192

第8章 擁壁・地下室と山留め

8.1節 擁壁	198
8.2節 地下室	204
8.3節 山留め	207

第9章 施工・品質管理

9.1節 基本事項	212
9.2節 地業	215
9.3節 直接基礎	222
9.4節 小口径杭の施工	237
9.5節 地盤改良	242

第10章 基礎の障害と修復

10.1節 基礎の沈下と障害	253
10.2節 基礎の修復	257

第11章 環境への配慮

11.1節 基本事項	268
11.2節 建設工事における周辺への配慮	268
11.3節 土壤汚染	275

第12章 造成宅地地盤

12.1節 宅地地盤の安全性	277
12.2節 軟弱地盤上の造成	278

12.3 節 盛土地盤の安全性	280
12.4 節 高低差のある地盤の安全性	282
12.5 節 宅地地盤の評価	286
12.6 節 地盤情報の提供	287

計算例

I. 地盤の支持力、地中応力、沈下計算

[計算例 1] 地盤の長期許容支持力の計算（べた基礎）(5.4 節 1)	289
[計算例 2] 層状地盤の長期許容支持力の計算 (5.4 節 2)	290
[計算例 3] 建物荷重による地中増加応力の計算 (5.5 節 1)	291
[計算例 4] 2 棟の建物荷重による地中増加応力の計算 (5.5 節 2)	292
[計算例 5] 盛土と建物荷重による地中増加応力の計算 (5.5 節 3)	293
[計算例 6] 盛土と建物荷重による沈下量の計算 (5.5 節 4)	294

II. 直接基礎の設計

[計算例 7] 布基礎の設計 (6.2 節)	297
[計算例 8] べた基礎の設計 (6.6 節)	301
[計算例 9] アンカーボルト（丸鋼）の短期許容引張力の計算 (6.8 節)	304
[計算例 10] 頭付アンカーボルトの短期許容引張力の計算 (6.8 節)	305

III. 地盤補強工法

[計算例 11] 深層混合処理工法による柱状改良体の長期許容支持力の算定 (7.2 節)	307
[計算例 12] 小口径鋼管杭の長期許容支持力の算定 (7.2 節)	308
[計算例 13] 浅層混合処理工法による改良地盤の長期許容支持力の算定 (7.3 節)	311

付録

付録 1 地形を表す地名の例	313
付録 2 スウェーデン式サウンディング試験と土の物理・力学試験	316
付録 3 鉄筋コンクリート造擁壁標準図	327
付録 4 特定有害物質の土壤汚染に関する関連環境基準	333

索引	334
----	-----

小規模建築物基礎設計指針

小規模建築物基礎設計指針

2008年2月25日 第1版第1刷
2009年7月30日 第3刷

編集人 社団法人 日本建築学会
印刷所 株式会社 技報堂
発行所 社団法人 日本建築学会

108-8414 東京都港区芝5-26-20
電話・(03)3456-2051
FAX・(03)3456-2058
<http://www.aij.or.jp/>

発売所 丸善株式会社
103-8244 東京都中央区日本橋3-9-2
第二丸善ビル
電話・(03)3272-0521

© 日本建築学会 2008

ISBN978-4-8189-0574-0 C3052